

川沿いに咲くサクラ並木 サクラ色いっぱい

のび咲くや鮎河さくらまつり

4月7日、8日すっかり恒例となった「咲くや鮎河さくらまつり」が土山町鮎河地区で行われました。

この祭りは地元のさくらまつり実行委員会が主催されたもので、うぐい川の両岸に植えられた200本の桜の満開とともに毎年開催され、県外からも多くの人が訪れます。

今年は、甲南太鼓などに加え、地元鮎河産のそばを使用したおそば屋が出店されました。新たな楽しみができました。

まずは、いきなりうぐい川沿いの満開の桜にビックリ、年々花の数が多くなっているのでしょうか、繊細な桜色と満開の桜の木々が織り成す迫力が抜群のコントラストでした。

鮎河産のそばは、休耕田を利用して作られているもので、しっかりした歯ごたえがあり、そば自体の味が濃いそうです。今回初めて出店というかたちで出されたものですが、大盛況で完売されました。

すっかりあたりも暗くなり帰ろうとしたとき、うぐい川の桜がライトアップされ昼とは違う顔を見せていました。夜桜もまた格別、来年のこの季節が待ち遠しいです。



鮎河産そば、もうすぐできあがり

ゴールデンウィークは 甲賀市で

—京都駅で観光キャンペーン—

「ゴールデンウィークは、是非甲賀市でお過ごしください。」

ゴールデンウィークを直前にした4月1日から30日までの1ヶ月間、京都駅2階インフォメーション前で春のびわこ観光キャンペーンが開催され、甲賀市も参加、駅を歩きかう皆さんに甲賀市の観光スポットを紹介しました。



また、イベントとして手裏剣道場を開催し、記念品に市の名産「お茶」などを渡しました。



手作り桜街道

—柞ヶ谷桜街道—

市内には多くの桜の名所があります。今年も多くのお客が訪れ、春の甲賀市を満喫されました。そんな中、各家庭から電気を引き、地域で守る桜並木を桜街道として整備されている地区もあります。甲賀町和田の柞ヶ谷桜街道です。この街道は地域の人の心のオアシスとして、桜の下で井戸端会議が開かれ、夜には提灯でライトアップ。薄明かりに照らされる桜の花は幻想的で、その下をウォーキングされる方も多く、隠れた桜の名所として人気を高めています。



上空から見た土地区画整理事業



4月15日(日)水口町虫生野土地区画整理組合による竣工記念除幕式が虹の町西公園で行なわれ引き続き竣工式が虫生野会館で行なわれました。この事業は平成13年度に着手され、低層戸建住宅街区で建築協定を締結するなど、住みよい環境づくりをめざし実施されたもので、総面積約5・7ha、宅地では約2・8haが整備されました。この3月末に事業完了となり、現在、約100世帯の方が住まれています。除幕式には、組合理事長をはじめ、地元の区長や中嶋市長など関係者約50名が出席されました。また、竣工式では滋賀県知事や市長の祝辞の他、事業功労者に感謝状の贈呈が行われました。

虫生野土地区画整理事業 除幕式・竣工式

福祉と人権のまちづくりを めざして

【かえで会館竣工】

4月30日(月)新しくなったかえで会館の竣工記念行事が行われました。

竣工を祝う威勢の良い甲南太鼓の演奏に始まり、テープカット、くす玉割りのあと、記念式典が行われました。

また式典のあと、竣工記念オープニング行事として、童話作家、鬼頭 隆さんの「創作おじんの童話会」が行われ、朗読とピアノ、影絵の不思議な世界に引き込まれました。

今後は人権・同和問題解決のための住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、相談事業や健康・福祉事業など各種事業を行います。

子どもから高齢者の方まで、幅広くどなたでも利用していただけるように施設整備をしています。ぜひ、かえで会館へお越しください。

